

胡子雅信後援会入会申込書

FAX: 0823-57-2184

■ご記入日: 平成28年 月 日 新規・継続 (いずれかに○を)

フリガナ 入会者ご芳名		男・女	歳
ご自宅住所	〒737- 江田島市(江田島・能美・沖美・大柿)町		
電話	(0823) -		
FAX	(0823) -		
メール	@		
ご家族のご芳名		続柄()	
		続柄()	
		続柄()	
ご紹介者	〒737- 江田島市 (0823) -		

※ご記入いただきました個人情報は、後援会活動の趣旨以外には使用いたしません。

誰にでもできる後援会活動

告示前は『投票を頼む』というような選挙活動はできませんが、次のようなことは自由にできます。

- 後援会をつくったり、拡大強化すること。
- 後援会への加入を友人や会社の人に勧めること。
- 個人や団体で候補者を推薦すること。

■後援会規約(抜粋)

- 本会は、胡子雅信氏の政治活動を後援し、かつ、会員相互の親睦を深めることを目的とします。
- 本会は、前条の目的を遂行するため、次の事業を行います。
 1. 講演会・座談会などの開催
 2. 会報などの発行および配布
 3. 関係諸団体との連携
 4. その他本会の目的に関連する事業
- 本会の経費は、会費・寄附金その他の収入をもって充当します。

[学歴・経歴] 大柿町立深江小学校卒 大柿町立大柿中学校卒 修道高等学校卒 慶応義塾大学法学部卒 日本郵船勤務(7年)	[政治経歴] 大柿町議会議員 江田島市議会議員 (現在4期11年目) 元・副議長 元・議会改革特別委員長	[所属] NPO法人ひろしま創発塾 WILL(広島若手地方議員の会) えたじま国際交流ボランティア 江能修友会事務局長 広島県市町議会議員政策研究会
-----------------------------------------------------------------------------------	----------------------------------------------------------------------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------

胡子雅信後援会

2~3名様から出張報告します。お気軽にご連絡下さい。

住所: 〒737-2213 江田島市大柿町大原5563-4
 電話&ファックス: 0823-57-2184
 E-MAIL: mebisu924@gmail.com
 ブログ: <http://mebisu924.cocolog-nifty.com/etajima/>



創新

会報第30号(議会報告)

江田島市議会議員 胡子まさのぶ

「ごあいさつ」



平成16年11月に江能4町が合併して12年が経ちます。市議としての活動も4期11年となりました。9月定例会で「地域防災の危機管理について」など2問の一般質問をしました。(概要は裏面)

今年度の議会報告会でも、人口減少と少子高齢化が進むなか、市民の間に漂う閉塞感を打破してほしいという雰囲気を感じました。

広島湾全体を視野に入れて考えてみましょう。広島市との「海生交流協定」、広島市を中心とした広島・山口の24市町との「広域連携」、呉市が江田島市

を含む9市町と新たな「連携」形成に向けて協議します。また、国の地方創生は「頑張る地域を応援」しており、このチャンスを活かさない手はありません。江田島市は地域資源が豊富で広島湾の中心に位置し、広島・呉に近いという地の利を活かせる場所にあります。

「透明性」と「対話」による「まちづくり」を基本に、①安心・

山下江弁護士

会長代行に就任



就任あいさつ
山下江法律事務所代表
表の山下江(こう)です。

安全な暮らし、②積極投資による経済活性化、③少子化対策と定住促進、④市役所改革という4つの挑戦によって忍び寄る「消滅可能性都市」という「大きな荒波」を乗り越えることができず。

ぜひ、皆さま、今年度江田島市の進むべき道と一緒に考えていきましょう。

この度、後援会会長代行を務めることになりました。久保久安会長(深江老人クラブ会長)がご高齢ということで全力でサポートしていきます。

私は、大柿町大原に実家があり、父山下政行は長らく大柿町役場に勤務していましたが、すでに他界しました。母は山下律子(元大古女性会会長)です。多くの皆様に支えて頂

なやみよまるく 「シガラミ」のない政治を!

きましたこと、まことに感謝申し上げます。さて、胡子雅信君は修道高校の後輩であり、また、親戚にも当たり

お互い平口洋衆議院議員とも親戚です。この江田島市を住民にとって住みやすいところにして、約12年間議員活動を行い、また、住民の声をこまめに聞いて諸活動を行ってき

【役職】

- 山下江法律事務所代表・弁護士
- NPO法人江田島まちづくり推進協議会理事長
- NPO法人広島経済活性化推進倶楽部理事長
- NPO法人さとうみ振興会会長
- 一般社団法人人生安心サポートセンターきらり顧問など
- 元広島弁護士会副会長

ました。はじめな性格であり、江田島市活性化への情熱は、誰にも負けないものがあります。

より良い江田島市を創るため、胡子雅信君には、その若い力では非、頑張ってもらいたいと思います。

9月定例会一般質問

地域防災の危機管理について

【胡子】6月大雨災害の実態把握と課題は。
 【市長】約400箇所の土砂災害等を確認。災害情報管理システムで発生状況の整理や情報共有で効果あつた。短時間に災害が集中し、業務が一部遅延する課題も。
 【胡子】災害時は時間内に限りがあり、復旧等の手続きは予め周知が大切。
 【危機管理監】出前講座等で周知したい。
 【胡子】民地災害復旧でどこに頼めばいいか分からない市民の声。建設会社等のリスト配布を。
 【土木建築部長】今後の課題として検討。
 【胡子】現状、職員56人が市外通勤。防災の観点から市内居住検討を再度伺う。
 【市長】居住地の市内外を問わず、適宜・

適切に参集し、防災要員の責務を果たす考え。実災害に則した体制構築に取組む。
 【胡子】市外居住の幹部職員数は。
 【危機管理監】部長は7名。
 【胡子】他市町への市民税納付額は。
 【総務部長】平成28年度分で広島市760万円、それ以外648万円。
 【胡子】幹部職員不在の指揮命令系統は。
 【危機管理監】各部署で訓練実施。部長が市外の場合、課長は全て市内。課長が市外なら部長が市内の体制。
 【胡子】憲法は「公共の福祉」に反しない限り「居住移動の自由」を認める。市民の安心・安全のため、市内居住、特に幹部職員は「単身赴任含め」進めるべき。自己等と意見交換し、きめ細かい対応と幹

部職員の市内居住検討を要望する。
 地域おこし協力隊について
 【胡子】地域おこし協力隊は最大3年。任期後の定住が国の制度目的。
 【市長】国の財政的支援や、市の各種制度を活用して定住支援を行いたい。
 【胡子】協力隊員は自らの安定した生活を投げ打って将来の可能性がある江田島市に赴任。しっかりとサポートして欲しい。
 【その他】大柿高校は移住・定住に不利な地域資源。高教員を創り、「教育の島、江田島市」にする。行政がリーダーシップを発揮して学校・住民・行政・議会が一体となつて取り組む環境づくりを要望する。

私たちの島の価値を見つめなおそう！



江田島市が誕生して12年。「島」の価値に気づいていないのは、本当は私たち市民かもしれません。

広島市や呉市に近い利便性、自然環境の良さだけでなく、もったいない地域資源や地域ごとの文化・歴史がたくさんあります。世代を超えて、いろいろなグループが各地域で「まちおこし」を始めています。左の記事のとおり、移住者も少しずつ増えています。

何か足りない、このまま人口が減って「まち」がなくなるんじゃないか。そんな不安や閉塞感を感じる市民の皆さんが多いのも現実です。

江田島市はそんな簡単に消滅するような「島」ではありません。チャンスを逃しているだけです。4町が一丸となって「島の底力」を引出すことによって、面白い「まち」になります。オール江田島市で、広島市からも呉市からも、そして全国からも「江田島市って面白いね」と思わせる「島」にしましょう！

住んでいる人の幸せが一番！
 そして島外PRで交流・移住人口増加へ

あきらめない、未来への挑戦！ ～ときめきランド江田島・能美島を～

1. 安心・安全な暮らしへの挑戦！

【介護・福祉】

各地域に適した「地域包括ケアシステム」の早期実現

【高齢者がいきいき】

拠点（交流の場）整備と運用を含めた活動支援

【便利な交通網】

海上交通の確保と運賃負担感の軽減策検討、陸上交通を便利に（循環型バス等の社会実験）

2. 積極投資による経済活性化への挑戦！

【活性化委員会の設置】

専門家等が参加する江田島市活性化の政策検討組織設置

【地場産業の強化と雇用の創出】

農業・水産業の6次産業化への支援強化、付加価値と販売競争力を高める支援

情報インフラ（光回線）を活用した企業誘致と地場企業支援

【起業家支援】

新たな未来に挑戦する市民を応援します

【観光振興に全力投球】

第1術科学校を核とした観光ルート、『道の駅』等の拠点整備、観光潮干狩り能美海上ロッジ地域の温泉を活かした宿泊施設整備等の民間活力による再開発推進

【空き家・空き地・耕作放棄地を活かす】 土地の流動化を積極的に支援

3. 少子化対策と定住促進への挑戦！

【子育て世代への支援】

出産祝い金、乳幼児等医療費助成制度の更なる拡充等の検討

【子育て環境の充実】

保育施設の安心・安全への取組み、既存公園を活用した子ども広場整備

【教育】

大柿高校存続への支援と大学等の研究機関の誘致活動

保育園と小・中・高の連携による「教育の島」をめざす

4. 市役所改革への挑戦！

【市民との対話によるまちづくり】

トップ自ら地域に出向き、全自治会との定期的対話を行い、まちづくりに生かす

まちづくり協議会、自治会等各種団体への人的支援と市民交流の場を創設

【職員の意識改革】

市民目線、現場主義、予算主義から成果主義への転換

【行財政の透明化の確保】

情報公開を推し進め、市民に信頼される行政運営

「透明性」と「対話」による市民のための「まちづくり」を実現します